

うめナビ

2017.12
Vol.69

「看板で悲しむ人をゼロにする」 日本初！科学的根拠に基づいた 「看板の定期健診」『看板ドック』

レガ-ロ



街を安全にすることを大義名分に「人生を賭けてやり抜く」と話す高倉社長

界にすることを決意したという。

これまで一般的とされていた看板の点検方法の多くは「目視」や「触手」であり、感覚的なものとなっている。「看板の落下により何の罪もない通行人が大怪我をするリスクを、感覚に頼った点検で解消することはできない」と考え、科学的な点検基準、安全基準に基づいた健診サービスを同社が独自に確立した。この看板ドックは、建築基準法および国土交通省道路局の安全基準に準拠して検査を行い、数値で判定した検査結果を診断カルテとして提出する。

光る文字型のLED看板をはじめとする看板の製造・販売などを行うレガ-ロ(世田谷区千歳台、高倉博社長、03・5490・8188、<http://www.regalo.co.jp>)は、科学的根拠に基づく看板の定期健診サービス『看板ドック』を今年10月1日よりスタートした。

ある多店舗展開の店で、約30年経過した55本のポールサイン、照明柱を対象に同検査を実施したところ、過半数は即対策が必要となる危険な状態、3分の1は健全でそのまま使用できることが判明した。評価が明確なため、何本を補修し、何本をそのまま使用できるかが分かりやすい。評価が曖昧な目視点検の場合はすべて撤去新設を余儀なくされ莫大な費用がかかるが、看板ドックは非常にコスト

安となり、「安心」「安全」を提供できる。車に車検、人に人間ドック、看板に看板ドック。「安全な看板、ひいては安全な街をつくりたい」と、高倉社長は熱く真摯に想いを語る。

数値で診断、カルテで報告



看板ドック 検索

「安全」「安心」を提供できる。車に車検、人に人間ドック、看板に看板ドック。「安全な看板、ひいては安全な街をつくりたい」と、高倉社長は熱く真摯に想いを語る。

トータルセキュリティと保守メンテナンスの プロフェッショナル すべてのお客様の課題解決をお手伝い

ネエチア

ネエチア(綾瀬市大上、中村真一郎社長、0467・77・2222、<http://www.e-nature.co.jp>)は、昭和47年10月に電子部品や電気製品組み立てメーカーとして創業した。以来45年間培ってきた豊富な納入実績とノウハウをベースに、大規模施設から小規模施設まで、業界最先端の技術力をもって、最適なセキュリティシステムを実現している。



各種セキュリティシステムを取扱う

も非常に重要になってくる。

このため同社は、監視カメラなどセキュリティシステム全般の開発・設計から施工・保守まで行うことはもちろん、各種センサーなどを使用した遠隔監視による機械警備や工場・施設などの常駐警備、また、総合的なビル建物管理や清掃業務に至るまで、他社には真似のできない人間的な気配りの行き届いたサービスを提供している。

さらには、信頼性・安全性が厳しく要求される鉄道の踏切の障害物検知装置の開発にも着手した。高齢者などの痛ましい踏切事故が多数報道されている昨今、従来とは全く違う方式のレーザー光を使った新システムの開発に、総力を挙げて鋭意取り組んでいる。このシステムが実現すれば、踏切での事故防止・安全性向上に著しく寄与するものになるはずだ。ご相談・お見積りのご依頼は、どうぞお気軽に。お電話やメールにて受け付けております。

<p>商社 8先</p>	<p>スーパー・小売・百貨店 30先</p>	<p>メーカー 15先</p>	<p>マスコミ・出版 34先</p>	<p>教育(大学・専門学校) 33先</p>	<p>官公庁 36先</p>	<p>ホテル 9先</p>	<p>金融 51先</p>	<p>建設・不動産 14先</p>	<p>システム関連 9先</p>	<p>その他 42先</p>	<p>合計 281先</p>
------------------	----------------------------	---------------------	------------------------	----------------------------	--------------------	-------------------	-------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	---------------------------

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

素晴らしい音を求めて半世紀 確かな技術と経験が活かしたフォノカートリッジ 世界中の聴衆を魅せる

エクセルサウンド

エクセルサウンド(横浜市港北区新吉田東岡田政雄社長、045・543・5100、<http://www.excel-sound.jp>)は、フォノカートリッジを製造販売している。フォノカートリッジとは、レコードを聴く際にレコード表面の音溝を電気信号に変換する装置である。

昭和45年の創業当初から、自社ブランドと海外ブランドのOEM生産を手がけてきた。早くも半世紀を迎える現在は、海外と国内ブ

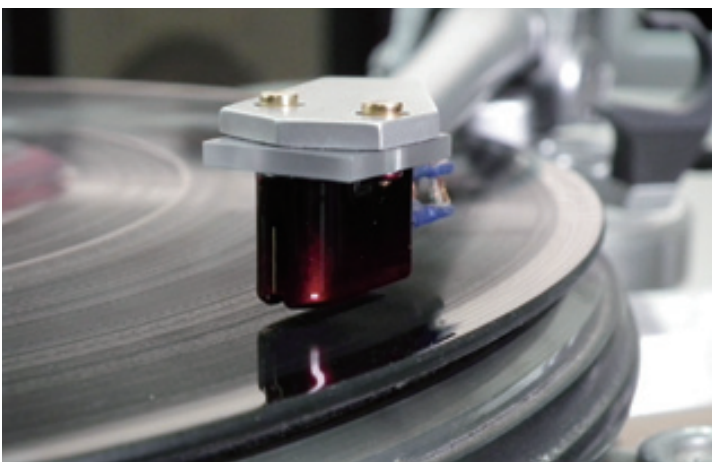
ランド約10社のOEM生産を行い、自社ブランドにおいては、悦郎・漆シリーズ、華シリーズ(海外向けのみ)を展開している。

ほとんどの作業工程が手作業で行われるうえ、部品も細かく正確でなければならぬフォノカートリッジは、日本製の部品を日本で組み立てている。悦郎・漆シリーズは製品名からも想像できる通り、日本の伝統工芸の漆塗りをフォノカートリッジ本体に施した見事な

光沢と質感が、まさに小さな芸術品。また、華シリーズは世界30カ国以上に輸出されており、メイドインジャパンのクオリティが好評を得ている。

それに加えて30年前からは、オーディオ・ビジュアルのアクセサリ製品(主にヘッドホンやスピーカー・収納ケース・クリナー)の企画・製造・販売も行っている。最近ではスマートフォン関連製品の取扱も始めるなど、時代に即した商品も手がけている。

レコードを聴くとき、フォノカートリッジの針先がレコードに触れた瞬間から、新たな音が、時が、刻み込まれるように、今後とも世界中で愛されるフォノカートリッジをつくり続けていく。この半世紀で培った技術と経験が、確かなモノづくりを支えている。



自社ブランドの悦郎・漆シリーズ。漆の光沢と質感がメイドインジャパンならではの精緻な美しさ

料理だけ、じゃない。 国を超えてお客様に届けたいのは、 「料理と人が交流できる場所」

アジアンテーブル

料理と人がひとつの【テーブル】で交流できるような場をつくりたい、それがアジアンテーブル(横浜市青葉区すすき野、東山周平社長、045・530・0566、<http://www.asian-table.jp>)の名前の由来だ。10店舗運営しているが(大連餃子基地 DALIAN 横浜中華街店、麻布十番店、モアーズ横浜店、東急ツインズ町田店、ららぽーと海老名店、南国食堂首里モアーズ横浜店、横浜蒸籠有楽町イトシア店、Asiantableあべのハルカス

ダイニング、ROTISSERIE★BLUE 恵比寿店およびセントラルキッチン、路面店と商業施設内の店舗、大きく2種類に分かれ、業態は多岐に亘っている。

『大連餃子基地 DALIAN』では、面点師が丁寧に一つひとつ手作業でつくった生の餃子をオーダーが入ってから焼くため、モチモチとした皮の食感と旨味たっぷりの餡のおいしさはもちろん、パリッと焼き上がった羽の食感と食べた瞬間口の中にあふれるジューシーな肉汁は最高の一言に尽きる。

今年8月、恵比寿ガーデンプレイス39階に開店した『ROTISSERIE★BLUE』は、ロティサリーチキンをテー

マにブルターニュ地方のガレットやドフィネ地方のグラタンなど、フランス各地の郷土料理にスポットを当てた料理構成だ。特注のロティサリーマシンで仕上げる自慢のロティサリーチキンは、シェフが生産者の元まで赴いた国産の鶏鳥に限定して入荷している。ドレスコードを設けずフレンドリーで温かみのあるサービスを心がけ、スタッフの明るい笑顔が迎える開放的なオープンキッチン、富士山を望む壮大な景色のもと、こだわりのチキンをおいしいワインでこの機会にぜひご賞味ください。



『ROTISSERIE★BLUE』自慢のロティサリーチキン

映像制作費¥50,000からご相談! 広告業界の無駄を省いた 質のよいプロモーション

未来基地

未来基地(大田区大森北、川崎正裕社長、050・3565・9789、<http://www.miraikichi.com> / [Email: mail@miraikichi.com](mailto:mail@miraikichi.com))は、TVやWEBのCM企画、制作および広告制作における顧問業など、「オモシロい」アイデアの数々を生み出し続けてきた。

「新しい商品ができた」「自分たちの技術を広めたい」けど、やり方が分からない...どうやっていいか分からない...そんなときはないだろうか?日々、広告に対する企業様のお悩みは尽きない。

「CMはお金がかかるのでは」と未だに躊躇している企業様へ、同社はコストパフォーマンスを考慮し、WEBやSNSといった新しいメディアの活用方法を模索しながら、お客様の戦略に合わせた高品質・低価格なプロモーションアイデアをご提案する。

大手CM制作会社を経て同社を設立した川崎社長は、広告コンクルの受賞歴を持ち、官公庁の依頼から有名



アーティストのミュージックビデオまで幅広く手がけている。むやみに組織を肥大化せず小規模な事業形態を維持しつつ、業界に散らばる「個人」の才能やネットワークとの協業を重視し、企業のHPや運営サイトの拡大戦略の立案、SNSなど新メディアの効果的な活用方法を工夫して、何かを「広めたい」「知ってほしい」そんな小さな悩みをひとつひとつ解決し、すぐれたプロモーションを構築していく。

お問い合わせ・お見積りはもちろん無料。当社の制作実績など、詳しくはホームページをご覧ください。



『大連餃子基地 DALIAN』

ドレスコードを設けずフレンドリーで温かみのあるサービスを心がけ、スタッフの明るい笑顔が迎える開放的なオープンキッチン、富士山を望む壮大な景色のもと、こだわりのチキンをおいしいワインでこの機会にぜひご賞味ください。



お客様から一番に選んでもらうために ①業界でも稀な「無足場工法」が可能 ②「小さなお困り事」を解決して差し上げる

ノッケン(大田区東矢口、野村勝治社長、03・3730・1020、http://www.noken.jp/)は、設立13年目を迎える外壁塗装会社である。一般的に外壁塗装を検討するお客様は3社以上に

対して相見積もりをとるため、数多くの会社の中から自社を選んでもらうには何かしらの工夫が必要だ。同社は創業当初から多くのお客様に信頼され、口コミなどで受注が増え続けてきた。その秘訣はどこにあるのか。同社の強みは大きく分けて2つある。

1つ目は「無足場工法」が可能であること。足場を組まずに職人が屋上からつるされたブルーシートやロープにぶらさがって塗装を行う工法だ。この工法を採れる会社は業界内でも非常に少ない。メリットは、①工期短縮 ②大幅なコストダウン ③防犯性が高い ④足場が組めない場所(建物同士の隙間が狭い所など)でも工事が可能、などである。反対に無足場工法が行えない建物(三角屋根など)で足場を組む場合も、他社との差

別化が図れている。一般的な塗装会社なら足場屋に依頼するところを、同社は自社で足場を所有しており、大幅にコストを削減できるため、低価格での提案が可能だ。2つ目は「すぐに大きな仕事に」ならなくても、お客様の小さなお困り事を解決すること。野村社長が一番大事にしていることだ。「外壁タイルが1枚剥がれ落ちそうで危ないので撤去してほしい」というご依頼にも喜んで応じ、無足場工法で1枚のタイル撤去を行った。不安が取り除かれたお客様から「次回、外壁塗装をする時はノッケンさんをお願いします」と感謝され、翌年大規模な外壁塗装を請け負うことになった。小さなお困り事を解決して差し上げたという社長の親身な人柄が、お客様からのご信頼につながる大きな要因である。



コストダウンなどさまざまなメリットがある「無足場工法」

外壁塗装・屋根塗装をお考えの方ぜひ一度当社にご相談を。



お客様を大切に想う野村社長の姿勢こそ、同社が選ばれ続ける秘訣

ノッケン

「お届けするのはとびきりおいしいマグロだけ！」 東京築地市場にて専門の目利きを選び抜いた こだわりのマグロをお楽しみください



恵水産(中央区勝どき、本宮義雄社長、03・5548・2852、http://www.negumi-suisan.com/)は、東京築地市場にてマグロを専門に卸業を営んでいる企業である。「おいしいマグロを適正価格でお届けしたい」。それが、同社の一番の願いであり基本姿勢でもある。この揺るぎない理念のもと、本マグロ、インドマグロ、メバチマグロ、生マグロといった魚種ごとにそれぞれ専門の目利きを配し、ほぼ同時に行われるセリに対して、毎日タイムリーに買い付けを行っているから、お客様



同社こだわりの新鮮なマグロをリーズナブルに味わえるメニューが揃っている

「まぐろづくし」も、大トロや炙りなどマグロを味わい尽くす恵み丼。JR神田駅ガード下(千代田区鍛冶町2-13-1)、紅白並んだ看板が目印である。ぜひ一度、品質を見極めるプロの姿勢と愚直なまでにこだわり選び抜かれた天然マグロをご賞味いただきたい。

の食卓に安定して高品質なマグロをご提供することが可能なのだ。入荷したマグロは築地の自社加工工場へ直行、加工後速やかに各営業所へ配送される。営業所には超低温保管設備を完備しているのので、きめ細やかなニーズにも対応できる。徹底したプロの温度管理、プロの加工技術をもって、獲れたてマグロの鮮度と味を全国各地に早くそして安くお届けしている。今年7月、同社はプロの目利きが厳選したこだわりの天然マグロが味わえるお店を2店舗オープンさせた。新鮮なマグロ寿司を驚きの価格で提供する「立ち寿司恵み」、おすすめメニューはまぐろづくしセット。新鮮なマグロを豪快に丼で楽しむ「まぐろ丼や恵み」のおすすりなど、大トロや炙りなどマグロを味わい尽くす恵み丼。JR神田駅ガード下(千代田区鍛冶町2-13-1)、紅白並んだ看板が目印である。

恵水産

作家もバンドも皆「いらっしやい！」 新鮮なシーフードとインドの「ビリヤニ」 おいしく楽しいひとときを



明るく開放的な店頭

アントレアントレはフランス語で「いらっしやい！いらっしやい！」
今まで知らなかった世界を体験、挑戦できる同店へ。新しい発見で疲れた心身を癒していただきたい。

アントレアントレ(世田谷区深沢、石田由美店主、03・6759・3273)は、おいしいシーフードと日本では珍しいビリヤニが食べられる店である。ビリヤニとは、スペインの「パエリア」、日本の「松茸ご飯」に並ぶ世界の3大炊き込みご飯と言われている、インドを中心に食されている、インドのお米バスマティライスにスパイス、肉、魚、野菜を使った炊き込みご飯である。同店の料理は、「フランスの片田舎に一人のインド人がふらっと旅をして村の人にお食事をふるまったらどんな料理になるのか」というコンセプトで、他にない新しい料理を創作している。カレーのイメージが強いインド料理も、インドから直送される香り高いスパイスを使って色んな国の料理を組み合わせながら、新しい料理として生まれ変わらせることができる。

また、同店は、色々なジャンルの作家が作品を展示できるギャラリーとしても展開している。ワークショップなどの開催を通じて、世界的に活躍されている方から作家の卵まで、近隣のみならず遠方よりお越しいただいたお客様にも、食事を楽しみながら作家と直接触れ合い、作品について語ることもできる交流の場として好評だ。さらに、音楽好きな方も楽しめるライブデザイナーなども行い、たくさんのお客様に喜んでいただいている。



バスマティライスとスパイス、魚介類の豊かな香りとともに味わう看板メニュー「ロブスターのビリヤニ」

アントレアントレ

「薄い、軽い、曲げられる！」 TV・ライト・広告…有機ELの特長を 活かした電化製品をご提案

OLED販売

今年5月に設立されたOLED販売(世田谷区奥沢、池田達史社長、03・5754・2771、<http://www.oled-hanbai.com/>)は、有機ELを取扱う商品をさまざまなシーンにご提案し、販売を行っている。

「有機EL」という単語を聞き慣れない方も多いかもしれないが、11月に販売されたiPhone Xの画面に採用されているほか、東京オリンピックに向けた有機ELディスプレイTVでの需要が多く期待される、今後注目すべき製品である。

同社は、オンキヨー&パイオニアマーケティング株式会社の元代表取締役である池田社長によって設立された。社長が、有機ELを活用した薄い壁掛けのディスプレイ販売を機に、市場の急激な拡大を見込んだのだ。

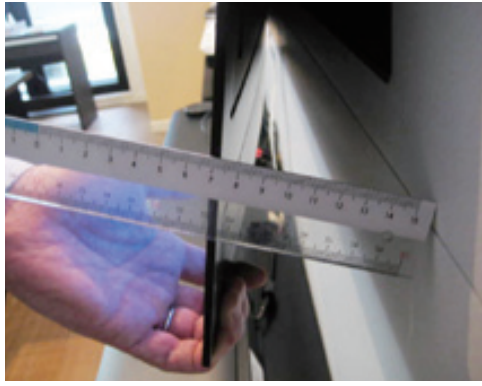
液晶TVやプラズマTVに比べ、有機ELディスプレイを採用したTVは厚さ約3.9mmと非常に薄く軽量なので、壁面に設置できるうえ、画質も格段によいという画期的な製品だ。

TVだけでなくライトとしても利用価値が高く、同社では看護・介護施設での夜間巡回用のナースライトを取扱っている。通常のLEDライトでは光が強すぎて、夜間巡回時に患者を起してしまうことがあるが、有機ELを使ったナースライトは、自然光に近いやさしい光となっている。

池田社長は、有機ELの活用について「薄い、軽い、曲げられるといった有機ELの特長を活かしたディスプレイ(TV)やデジタルサインージ(広告)など、さらなる市場拡大をめざしています」とこれからの幅広い事業展開に期待をかけている。



有機ELを使ったナースライト



有機ELディスプレイを採用したTV。すぐれた画質を保持したまま、厚さ3.9mmの驚異的な薄型化・壁に貼り付けられるほどの軽量化が可能となっている



アーバンサービス【社訓】

みんなに笑顔届け、家族の絆と夢を結ぶ懸け橋となる。

【五つの行動指針】

- 一、私達は、現状に満足せず全力で挑戦し続ける。
- 二、私達は、想いやりを持ち感謝する心を忘れない。
- 三、私達は、真心を込めたサービスと技術を提供する。
- 四、私達は、夢の快適空間創りでライフスタイルを提案する。
- 五、私達は、自信を持ち、共に感動し笑顔絶やさない。

これからの「みんなの笑顔」「家族の絆と夢」のために、金子社長のもとスタッフ全員が協力し、技術力を磨きながら成長を続けていく。

「みんなの笑顔」「家族の絆」を結ぶリフォーム 自社スタッフによる直接施工 スピード・ローコスト・仕上り力が自慢

アーバンサービス

リフォームという仕事を通じてご家族の絆の懸け橋になりたいという想いを持つのが、アーバンサービス(大田区西糎谷、金子秀久社長、03・6904・1011、<http://www.urban-service.jp/>)である。大田区を中心に、品川区や世田谷区、横浜市や川崎市など事業エリアは幅広い。



スピーディーながら抜群の仕上り力!

する。また、自社スタッフによる直接施工だから可能なローコストでハイレベルな仕上りには定評がある。

原状回復

復・内装リフォームには、解体工事や電気工事、配管工事などを含めたパッケージプランを設けている。これが可能になるのも、自社施工のため中間マージンがなく、確かな技術力を持つゆえである。また、マンションフルリニューアルの「ライフステージプラン®」は、キッチンやリビングのリフォーム、配管の交換から仮住居の手配までをマンションの広さに応じたパッケージ料金で提案しており、どのプランも好評を博している。

これからの「みんなの笑顔」「家族の絆と夢」のために、金子社長のもとスタッフ全員が協力し、技術力を磨きながら成長を続けていく。

全国のロータリーユーザーが注目! 「R Magicのエンジンは速くて壊れない」 各レースでも存在感をPR

R Magic

R Magic(株)大原・相模原市中 中央区田名、大原幸弘社長、042・764・7077、<http://www.rmagic.jp/>)は、MAZDA車のメンテナンス、チューンナップを主業としている。特に、ロータリーエンジンに関する技術の高さは全国的にも知られており、日本各地からコアなユーザーが来店される。

同社がロータリーエンジンのスペシャリストとして名を上げるきっかけとなったのは、筑波サーキットでのタイムアタックである。当時、FR車では不可能と言われていた1周55秒台というタイムを、挑戦1年目であっさり出してみせたことで、一躍有名ショップの仲間入りを果たした。

同社が次に挑戦したのが、ドリフト走行では世界最高峰の競技「D1グランプリ」だ。平成20年から参戦し始め、今シーズンで10年目になる。シリーズチャンピオンはまだ果たせていないが、ラウンド優勝をはじめ、常に上位に食い込んでいる。

レースや競技に参加することは、過酷な条件下でのエンジンや車体の耐久性を向上させるにはどうすべきかを問う、得難い実験の場となっており、そこで培った技術やノウハウが確実にユーザーへフィードバックされている。「R Magicのエンジンは速くて壊れない」という高評価につながっている。R Magicのエンジンには速くて壊れないという高評価につながっている。R Magicのエンジンには速くて壊れないという高評価につながっている。



競技は、技術を磨き、PRする恰好のチャンス



同社の技術力を買うユーザーが全国から集まってくる

全国から、同社の技術を求めてロータリーユーザーが集まるとともに、派手なカラーリングの車体は雑誌、DVD、ニコ生などWEB媒体といった各種メディア露出も多く、走る広告塔としてスポンサー企業からも喜ばれている。自動車業界以外のスポンサー企業の参入はまだ少ないので、これからは異業種のスポンサー獲得を課題に取り組んでいく。